

## ルールと進め方(本戦)

### 1 本戦について

- ①源平方式による個人戦(トーナメント形式)で行います。
- ②予選の順位とリーグにより本戦の試合順と会場が決まっていますので、プログラムで確認してください。  
1 回戦 4 試合(高学年は 2 試合) ⇒ 2 回戦 4 試合 ⇒ 準決勝 2 試合  
⇒ 決勝 1 試合の順で行います。
- ③試合ごとに 5 分程度の休憩時間を設定します。
- ④本戦は選手入替・札の配置・暗記で 5 分、試合 20 分(1 回戦・2 回戦)、結果記録・札回収で 5 分の計 30 分で行います。
- ⑤札は各 15 枚の計 30 枚を使用し、詠み札は空札ありで行います。
- ⑥会場の座る位置はじゃんけんで決めます。入場後に係員が指示します。
- ⑦自分の札 15 枚を受け取ったら、自分の前(自分の陣地)に 3 列に並べてください。
- ⑧相手陣地の札を取った場合は、自分の陣地から札を 1 枚選んで相手に送ります。送られた方は自分の陣地の好きな場所に送られた札を並べてください。
- ⑨自分の陣地の札がなくなるか、試合終了時に自分の陣地の札が相手陣地の札よりも少ないと勝ちです。試合終了時にそれぞれの陣に残った札の数が同じの場合は、じゃんけんをして勝敗を決めてください。
- ⑩準決勝と決勝はどちらかの陣地の札が無くなるまで試合を続けます。
- ⑪同時に札をとった場合は審判が判断します。
- ⑫詠み札と違う札にさわった場合で、正解の札がその陣地にはない場合はお手つきとなります。(その陣地に正解の札がある場合はお手つきにはなりません。)
- ⑬お手つきの場合、複数回違う札にさわった場合でもお手つきは 1 回と数えます。
- ⑭お手つきをした人は相手の陣地から 1 枚札をもらい、自分の陣地の好きな位置に並べてください。
- ⑮お手つきをした場合に相手からもらう札は相手が決めます。
- ⑯相手陣の札を取った場合やお手つきにより、相手に札を送る前に次の詠み札(上の句)が詠まれ始めた場合は、もう札を送ることはできません。

## 2 札の詠み方

- ①最初に序歌が詠まれます。  
「難波津に咲くやこの花冬ごもり 今を春べと咲くやこの花」
- ②序歌に続いて1首目の上の句が詠まれます。
- ③上の句のあとに少し間をあけて下の句が詠まれます。
- ④本戦では札が取られたら審判が手を下げます。全ての審判の手が下がったら、少し間をあけて次の歌の上の句が詠まれます。両方の陣地に札がない詠み札(空札)の場合は、一定時間後に審判が手を下げます。
- ⑤審判は次の場合には手を上げて次の歌が詠まれるのを止めます。
  - 上の句に続き、下の句(1度目)が読み終わった時点で、正しい札がまだ取られていない場合
  - 乱れた札を整理または札の位置を変更している場合
  - 送り札のやりとりをしている場合
- ⑥それぞれの歌の上の句が詠み始められるまでは、手を畳の上に置いてください。

## 3 その他

- ①開始時間に会場に来られない場合でも予定どおり進行します。その場合、途中からでも参加は可能です。
- ②試合中やむを得ない理由で席を離れる場合は係員にお伝えください。但し、その場合でも試合は中断しません。
- ③試合を見学される場合、子どもたちが集中して対戦できるように私語や応援などの音を出す行為はご遠慮ください。会場外に出られる場合や、会場内で移動される場合は、詠み札が詠まれていない間にお願いします。
- ④試合中の写真撮影や動画撮影の際には、シャッター音やフラッシュが出ないようにお願いします。また、ご自身やお子様以外の方が映っている写真や動画をSNSに投稿されないようお願いします。
- ⑤事業の記録用に市職員が写真撮影を行いますので、ご了承ください。
- ⑥3階の茶室を練習会場兼休憩場所として開放しています。また、11時～14時は3階の第1研修室も休憩場所として開放しますので、ご利用ください。飲食も可能です。